

広報
260号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980~1
発行人 近藤 勝
編集広報委員会



八丈八景のひとつ、大坂トンネルからの風景。

城南支部 (株)梶谷商事 梶野泰一

〈 主 な 内 容 〉

時の視点			組合員の広場	
総務部長挨拶	総務部長 高山昭二郎	2	「今日、この頃」その(5)	
静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会		2~6	旅ごよみ (株)元事務局長 三沢康男	9~12
第5回ゴルフコンペ	青年部 高橋宏明	6~7	支部スケジュール	12~13
支部便り			お知らせ	
荒川支部 第61回総会	支部長 久保田貞行	7	「7・8・9月会議予定」「古紙価格」	14~15
千代田支部 納涼会	支部長 近藤正彦	7	「代表者変更・住所変更・組織変更」「訃報」	
城南支部 総会	支部長 坂田 智	8	会議概要「6月」	15~21
組合員の広場			編集後記 広報部副部長 脇 克美	21
趣味について	(株)丸十商店 遠田雅行	8~9	広 告	22

時の視点

総務部長の挨拶

東京都製紙原料協同組合

総務部長 高山 昭二郎

今年度につきましても、正副理事長及び当組合執行部をサポートし、組合事務局と連携をとりながら、以下の事業計画の遂行を考えさせていただきます。

また、5月の通常総会、祝賀会の運営に關しましては組合員の皆様には多大なるご協力を賜りましてありがとうございます。無事終了できましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

1. 通常総会、祝賀会の運営（5月21日開催）
 2. 永年勤続従業員表彰の運営（5月21日開催）
 3. 組合事務局運営及び常任理事会・理事会・その他外部団体との司会進行
- 正副理事長、当組合執行部と連携しながら

よりスムーズな会の運営のサポートをさせていただきます

4. 製紙原料会館のテナント管理、建物維持管理
- 組合事務局と連携をとりながら維持管理をさせていただきます

以上が主たる事業計画となっております。

静岡県紙業協会家庭紙部会

との懇談会

〔平成20年6月27日（金）午後2時00分〕

於）富士工業技術支援センター大研修室

出席者： 静岡県紙業協会家庭紙部会16名

（内、家庭紙メーカー20名）

静岡県製紙原料商業組合8名

東京都製紙原料協同組合9名

三団体代表挨拶

イデシギヨー（株）井出代表取締役会長

〔静岡県紙業協会家庭紙部会〕

家庭紙は、製品価格の修正をしようと頑張っている。少し価格修正が出来たかと思う

暑 中 御 見 舞

と、他の物価が上がリ、原材料・副資材・パルプ等も上がってしまったので、なかなか追いつかない状況である。製品の生産は増えているが需要も増えている。今は、製品については不需要期であり、価格修正も遅れている。パルプが非常に高くなっており、きちんと価格修正をしていかないと会社も再生産ができなくなってしまう。

近藤理事長〔東京都製紙原料協同組合〕

前回は三団体の懇談会を東京で開催する事ができ、普段、参加の出来ない組合員も参加ができて感謝している。今後も開催できる可能性があれば不定期でも実施していきたい。本年に入り古紙の配合率偽装問題で世間を騒がせていますが、次第に終焉に近づきつつある。今後も、無理な配合率の設定をしないようお願いをし続けていくつもりである。古紙の回収率は1月～4月までで前年対比で多少だが全国レベルでは延びているが、関東地区では新聞、段ボールが減少している。産業古紙については近年にない発生減で注文に応じられない状況にある。本日は、古紙の発生を中心に話をしていきたいと思っている。

佐野理事長〔静岡県製紙原料商業組合〕

今期より組合の理事長に就任することになった。静岡商組では昨年から県内の16社を対象に裾物3品のデータをとる事になっている。又、家庭紙原料の在庫についても統計資料としてデータを集めていく計画である。現在の家庭紙を取り巻いている状況は、業界誌の掲載データによると1月～3月の衛生用品（トイレット・テッシュ他）の販売が昨年と比べ10%強増加している。トイレットパーリーについては多少だが上昇をしている。今後の製品の価格修正に期待をしている。

古紙全般の市況について

赤染直納部長〔東京都製紙原料協同組合〕

国内の市況では、関東近辺のメーカーは、原料在庫である新聞・雑誌は潤沢にある。価格に関しては、高値は消えている。

段ボールは製品の価格修正が9月に予定されている。全国の在庫は適正在庫35万トンに比べ3万トンほど多い。今後、生産調整に入っていくだろうと思われる。現在の原料問屋の家庭紙向けの在庫は、ランニングストック程度の量である。出版・印刷は毎年、印刷部数が落ちている。家庭紙メーカーに原料が注文

暑 中 御 見 舞

どおりいかなるのが現状である。
東京協組の共販輸出価格は、昨年の前半に国内価格を下回ったが、入札方式に変えてから国内を上回る価格で推移している。

家庭紙原料について

小林色上委員長〔東京都製紙原料協同組合〕

不況により産業古紙の発生が全体的に減っている。東京協組で統計をとっている組合員38社の家庭紙古紙の在庫状況は、昨年対比で平成20年1月から5月までで毎月100%を下回っている。これからもこの状況が続くのではと危機感を持っている。

込頁については3月～4月が発生期であるが、昨年対比で3月・4月と減少ケントに関しては、昨年対比で3月・4月とさらに発生が少ない。3月～4月は、昨年ほどではないが各家庭紙メーカーへ原料の納入ができた。しかし、5月は発生が落ちてきており、6月も相変わらずタイトな状況が続いているので家庭紙メーカーへ納入する数量に苦労しているのが現状である。産業古紙は、出版・印刷が悪いため発生そのものが減退している状況である。オフィス系も同じく発生が減少している。洋紙メーカーの動向により需給バラ

ンスのとりにくい市況になってきている。

オフィス古紙について

高橋委員長〔東京都製紙原料協同組合〕

オフィス系の発生は良くない。

環境省から発表のあったデータによると平成18年度の全国のゴミの量は、52,020,000トン出ていて集団回収から3,050,000トン、生活系から33,160,000トン、事業系から15,210,000トンと発表されている。その中で平成19年度の東京23区のゴミの量は、累計3,220,000トンでているが前年と比べ112,000トン減り、率で3.3%の減少となっている。その内の可燃ゴミ1,636,000トンの44～45%が紙ゴミである。燃やされている可燃ゴミの中からどうやって使える紙として使用できるか考えていかなければならない。

静岡の状況について

鈴木理事〔静岡県製紙原料商業組合〕

上物の発生が全体的にここ10年ぐらい目減りをしている。3月～4月は発生期で、5月～6月は非発生期となるが、印刷、製本関係

暑 中 御 見 舞

の発生が非常に悪い。オフィス古紙も6月は非発生期で減少している。ここ6月に入り状況がタイト向きに変わっている意見がでている。

家庭紙メーカーの現状

〔静岡県紙業協会家庭紙部会〕

①1月～3月は入荷が悪く在庫が足りない状況であった。3月～4月は入荷があった。5月～6月に入り入荷が少ない状況になってきた。現在は在庫がある方だが、今後の発生の不安がある。急激な原料の値上がりにより、それを見込んだ製品の価格修正ができずにいる。量販店の問題があり、なかなか価格修正が進まないでいる。急激な原料価格の変動は避けたい。

②家庭紙業界全体で価格を修正している。中小メーカーは揃うが、大手メーカーが、足並みが揃うことがなかった。古紙との関係もありトレットロールが7月くらいから修正を始めて価格差が瞬間的に収まるのではないかと思われる。ここところの再生紙のシェアは、大手が35%で中小が65%である。価格差が開くと再生紙に目が向けられるのではないか。発生が減り印

刷も低調な中、古紙の調達に厳しい状況である事を心配している。価格修正の中で振替の需要が出てくるのではないかと思われる。

家庭紙の発生状況について

〔東京都製紙原料協同組合〕

古紙の調達は、これから秋口に向けて難しい状況である。大手DIPの稼働、新規事業系等で多く使用する可能性が考えられる。新聞は輸出に回る分、かなり取り込んだが、それだけでは足りない。新聞の代わりに使えるものを考えていかなければならない。極端に必要なバランスが崩れると満足な供給ができない状況になる。極端に需要が増すのは良くない方向性である。

関東商組では、平成20年度の古紙発生の見通しが前年を下回る可能性があるとする見通しをたてている。新聞購読者の減少、原油高等で産業界・事業系・家庭系の古紙の発生が減少、スーパー・百貨店からの段ボールの減少等で業界は、限られたパイの奪い合いになるのではないかと考えられる。

暑 中 御 見 舞

印刷・製本について

〔東京都製紙原料協同組合〕

電子化の影響もあり廃業が多い。インターネットでの通販に移行しておりカタログが少ない。集荷業者は、印刷も製本も単価が安く商売に魅力を感じられないので、なかなか後継者が出てこない状態である。

〔質疑応答〕

G (原料側) ・ M (メーカー側)

Q—M…原料古紙の全体の在庫が少ないのか

A—G…古紙の在庫は非常にタイト。ランニングストックを切る程度しかない。

Q—M…古紙が少ない中で洋紙メーカーは、どう対応していくのか

A—G…現在の古紙を中心に、あらゆるスペックの古紙を使う。模造、ケント、込頁等が使えるかどうか。雑誌が潤沢に入ってくれば対応の仕方があるのだが。今後、古紙の発生が下がっていく要素が強いのでは。

Q—M…トイレットペーパーの国内消費は伸びるのか

A—M…トイレットペーパーの生産は110万トンで昨年対比100・2%で内需は悪くない。

Q—G…家庭紙メーカーを見せてもらえるのか
A—M…富士に関して、各メーカーは可能である。写真・ビデオの撮影もできる。

第5回 組合ゴルフコンペ開催

青年部 高橋 宏明

平成20年6月8日(日)組合ゴルフコンペが、埼玉県J鶴ヶ島カントリー倶楽部にて開催されました。関越道の鶴ヶ島インターから、約10km位の場所にあるゴルフ場で車のナビゲーションに頼らないと、ちょっと、難しいかな?と思いつつ、当日は32名の参加者と大変に多く、近藤理事長の挨拶の後、8組に分かれてスタート。カートに乗るとモニターがあり、このモニターに「ビックリ」。コースはもちろんスコアの集計まで全部してくれるのには、驚きました。

コンペの結果は、近藤理事長が優勝され、準優勝に近藤行輝さんと兄弟で「ワン」「ツー」という結果を出されました。

成績は次の通りです。

- 優勝 近藤 勝 美濃紙業(株)
- 準優勝 近藤 行輝 美濃紙業(株)
- 3位 真下 伸司 (株)工藤商店

暑 中 御 見 舞

支部便り

荒川支部 第61回総会

支部長 久保田 貞行

平成20年4月13日(日)、荒川支部総会を上野梅川亭に於きまして開催しました。

当日は、22名が出席致しました。

桜はすでに葉桜となりましたが、丁度、お昼時だったので上野公園は大変な人手でした。総会は全議案が滞りなく承認されスムーズに終了いたしました。

その後の懇親会では、皆さん和気あいあいと美味しい料理、お酒を頂ながら約2時間の会食の後、散会となりました。

- 4位 工藤 房太郎 (株) 起多邑
- 5位 清水 明利 (株) 清水
- 7位 藤井 康夫 (株) 藤井
- 10位 大村 照雄 大村紙業 (株)
- ブービー 梨本 竜範 (株) 梨本
- ベスグロ 清水 明利 (株) 清水

千代田支部 納涼会

支部長 近藤 正彦

7月8日(火) 文京区椿山荘にて納涼会を行いました。

総勢40名でのディナーバイキング(ホタルの夕べ)でした。

大人も子供も満足のいく食事が出来て家族団欒はもちろん、支部の皆さんとの会話も楽しむことが出来ました。今後も、このような企画を考えたいと思います。



舞 見 御 中 暑

城南支部 総会

支部長 坂田 智

於：田町牡丹

城南支部19年度総会は、田町の牡丹にて開催されました。清水副理事長、大同生命の服部課長と小川さんに参加していただき支部員とで20名にて開かれました。

まず総会は、各議案も無事にすべて承認され、つつがなく終了しました。そして引き続き宴会に入り、まず支部長の挨拶、来賓の清水副理事長と服部課長に御祝辞を頂きました。



乾杯のあと牡丹の接客の女性も入り楽しい宴へと進行していきました。この一年業界には、古紙価格復興があり、扱い数量減少の中でも明るい支部員の顔がみられました。尚7月26日(土) 支部納涼会を白金の八芳園にて開催する予定です。

組合員の広場

趣味について

(株) 丸十商店 遠田雅行

私の趣味の一つに、「ラフティング」というスポーツがある。「ラフティング」とは、ラフトと呼ばれるゴムボートで川を下る、言ってみれば、激流ゴムボート下りだ。乗り合いも仕立ても出来て定員は6名、プラス、ガイドがついて合計7人で川を下る。TVの番組やCMでも使われていて、最近では割りと知名度が上がっている。関東では埼玉県の長瀬と群馬県の水上が有名だ。私は、水上の方に通っている。

暑 中 御 見 舞

ベストシーズンは、春のゴールデンウィークの頃で雪解け水やダム放水等で流れる水量はかなり多く「ハイウォーター」と言っている。また、ラフティングならでは、川の難所の呼び方があり、「シヨトガン」や「フリッパー」などと覚えていくのもまた楽しい。当然、落水者もいれば転覆もあるが、装備やルールなどその時はどうするかなどのレクチャーも万全だ。行く度に自然は「なめてはいけない」という思いにかられる。でも何と言っても楽しいのは、ちよつとアブナイんじゃないの？というくらいのスリルと騒いでナンボ、イタズラしてナンボという子供の感覚だ。大人ぶっていると全く楽しくない。通っている常連客の中でおそらく私が、一番のイタズラ者だ。夏や秋は比較的に水量が少なく、初めての方向きではないだろうか。そして、今の時期の私はというと大きな声では言えないが、週末あたり台風を待っている状態だ。天候もほとんど関係なく、楽しめるし、下は小学校4・5年生から、上は60歳ぐらいまでと幅が広いのも良い所だ。料金と期待と連れて行った人達の反応を裏切らないところも魅力の一つである。

「今日、この頃」 その(5)

旅ごよみ

元事務局長 三沢康男

戦後、間もない頃の小学生の私の旅行は、貨物列車に乗った家畜まがいの有様であったが、それでも「遠足」と云って、秩父方面への旅であったが、楽しかったのを覚えている。道中の風景と共に、それが今でも忘れることのない少年の至福の思い出であり、最高のうれしさであった。

さて、いい旅には心が落ち着いたひとときがあり、時がゆっくり流れていくのがいい旅だ。だから、ゆっくりと、やすらぎのある旅が、またいいのだ。そして、旅は到着することが目的ではない。旅そのもののプロセス、つまり、つまり多種多様な景観や、多数の出会いを楽しむことが、いい旅であろう。よって、旅はつまり、ふるさとへの帰省かもしれない。さて、今夏は、これがあの「世界遺産白鷺城姫路城」、「倉敷美観地区」、「足立美術館」、「堀川遊覧船松江」、「日本最大の砂丘鳥取砂丘」、「但馬の小京都出石」、「日本三景のひとつ天橋立」の観光をめぐる旅をしてきま

暑 中 御 見 舞

した。

さて、旅の達人と云えば、古くは西行法師と奥の細道の松尾芭蕉であるに異論がないが、こと現代においての真の旅の達人が誰であろうか。強いて云えば、遠くへ行きたいの永六輔と渡辺文雄がちよっぴり達人らしさを感ぜさせるが、それとても十分とは云えまい。となると、もうこの人しか居ないだろう。寅さんこと渥美清だけだろうと思ったら、いたいた、釣りバカ日誌の西田敏行と三国連太郎と云えよう。確かに、映像の中とは云え、旅人としての寅さんも、ハマちゃん、スーさんは、ウソのない思いやりのある、ある意味での自由人であって、それが魅力にさえなあって、各旅先でもって、旅人としての達人振りを発揮して、人気をあげていると云える。

それじゃ、行ってきた先ず国宝姫路城であるが、京都で学生時代を過ごしていた私が、同じ関西圏の姫路なのに、なんで行かなかつたかと云うと、丁度あの頃に白鷺城の十年間の昭和大大改修をやっていたので、見学が中止されていたのであった。よって、どうしても行かなくてはならない憧れの聖地であった。ところが、このメインの姫路城の見物の日は、暑くて暑くて天守閣への登城は、汗でびっ

しよりになって、すっかりまいってしまって、まるで十年分の汗をかいたような塩梅であった。だから、講談播州皿屋敷で有名なお菊井戸を見逃すほどの暑さぼけであった。が、一度は天下の名城を見てまわりたい願望を充たしたので、やはり「よかった！」でしめくられてよかった。それにしても、あの築城を為し得た、ときの権力と富のすごさと、素晴らしさに、ただただ呆然とするのみであった。



舞 見 御 中 暑

ところで、倉敷の大原美術館には、かつて折角倉敷に来たのに、その時節が暮の十二月の後半だったので、既に冬期休館時で閉まっており入場ができなかった。そこで今回が再アタックとなったものである。流石に大原美術館である。モネ、エルグリコ、ルノワール、ゴーギャン、など世界画壇の巨匠の作品が、じかに見られた喜びが、追し寄せて、かつての美学生の私に「人生は短かし、生活も短かいが、芸術は長し」と。

今回の旅行におけるの思い掛けないハプニングがありました。

あの倉敷名所の美観地区でのことであつたが、なんと五月みどりさんが旅番組の撮影でもって、居るではありませんか。五月さんは、かつて私と同世代において、人気歌手であつた。今でもキッチリと昔の面影を残す美しい女であつて、私の大好きな憧れの人であつたので、会えたのがうれしかった。会話の中で、私が五月さんが出ているラジオ番組の大沢悠里のゆうゆうワイドがとてもいい番組であると五月さんに伝えると、五月さんは何でそれを知っているのかと驚いていたので、実は私が東京から来たので番組を聞いており知っていると言ふと、五月さんは納得したらしく、

親しく会話をしてくれた。この事は、思わぬ余禄のようなものであつたと云えよう。

足立美術館については、実はその存在さえ知らなかったが、実際に訪ねてみると、よくもまあこんな田圃の中につつたなあと思う辺鄙な場所であつた。けれども、展示の内容は、横山大観を中心とした展示物が、来てよかつたと思うほど、素晴らしいものであり、絵画を中心にした以外にも、その外観の庭園が枯山水の極致であつて、数ある京都の庭園にも劣らない、むしろ勝つているとも云える名園であつた。日本一の庭としての名声が、偽りのないたいした所であつた。さて、今回の観光の中で、強いて云えば鳥取砂丘だけは、はっきり云つてつまらなかつたのは何故か。歌謡歌手でご当地ソングが得意な水森かおりの歌で、より以上に有名になつたようであるが私にとつては二度と来てみたい場所であるとは思わなかつた。それでも、鳥取砂丘それなりに観光客を呼べる所であると思つた。次に訪れた但馬の小京都と呼ばれる出石は今回食事所として行つたが、小さな町であるが名物ソバがうまくて印象に残つた出石であつた。さて、松江であるが、私の関西での学生時代において唯一旅に行つたのが、山陰地方であ

舞 見 御 中 暑

った。鳥取の霊峰大山への登山が目的であったが、勿論山陰の小京都松江への観光も含まれていた。あの頃の煙をばく山陰線の列車は、途中トンネルに入るとすぐに窓をしめなくてはならない。そうしないと黒煙とススが車内に入ってきて顔中が真っ黒になってしまいうからであった。やはり穴道湖畔での宿泊はまさに絶？な一夜であり、今でも懐かしい思い出旅であった。当時と現在でも松江城を中心とした菅田庵、小泉八雲旧邸等のスポットは全く変わらずであったが、唯一当時なかったのが堀川遊覧のコースであった。これは城郭の廻り堀端の水辺を船に乗って少時間の遊覧であったが船上からの多様な視角がそれなりによかった。よってアツと云う間の時間が過ぎて、きれいな松江へは何回来てもいいなあと、きい歴史と伝統が活きている観光地であると思ってしまうところであった。

最後に天橋立である。今は亡き同志社時代のFと云う友と行ったのを思い出して、特別な感想に耽る懐かしい日本三景の一つであるが、今回も初めて行った頃と同様の新鮮さもあって、来てよかったと思つた次第であった。さて、これで山陽、山陰といわゆる中国地方の要所は行ったことになった。残すは四国

だけである。次回は瀬戸内海を中心とした四国の旅をしてみたいと思う今日この頃であります。(平成19年白露)

支部スケジュール

千代田支部

- 支部会 7月7日(月) 水道橋 茶の家
- 支部会 9月8日(月)

中央支部

- 支部会 7月11日(金)
- 支部会 9月12日(金)

文京支部

- 支部会 7月7日(月) 音羽・西家金二郎
- 納涼会 8月8日(金) 小石川
- 支部会 9月8日(月) 大塚 寿し常
- 支部会 10月8日(水)

台東支部

- 支部会 7月(納涼会を兼ねる)
- 支部会 9月
- 支部会 11月

暑 中 御 見 舞



*中国大地震救援金について

平成20年6月2日に当組合より中国四川省の大地震につきまして「日本赤十字社」を通じて救援金を送りました。



荒川支部

納涼会 8月23日(土) 浅草まつり湯

足立支部

支部会・納涼会 8月に予定

山手支部

支部会 7月19日(土) 鮎やなぎ

研修会 9月6・7日(土・日) 湯河原

支部会 9月19日(金) 鮎やなぎ

城南支部

納涼会 7月26日(土) 八芳園

江墨支部

納涼会 7月17日(木)

支部会 9月19日(金)

城北支部

支部会 7月11日(金)

支部会 9月12日(金)

暑 中 御 見 舞

◎60周年記念行事の

キヤッチフレーズ募集

平成20年10月24日(金)に上野 精養軒で
開催いたします「60周年記念行事のキヤッチ
フレーズ」を各組合員から募集いたします。

組合事務所宛に FAX 又は、郵送にてお
送りください。ご応募をお待ちしております。

FAX番号 03(3831)7880

郵送先 〒110-0016

東京都台東区台東3-16-1

お知らせ

7月・8月・9月会議予定

〔7月会議予定〕

7月28日(月) 古紙関係協議委員会

(pm3:30)

板橋・製本工組会議室

〔8月会議予定〕 *理事会休止

8月5日(火) 60周年記念実行委員会

(pm4:00) 組合会議室

8月13日(水) 15日(金)

組合事務局夏季休暇

8月21日(木) 返本加工組合総会

東京ドームホテル

総会 (pm4:00)

懇親会 (pm6:00)

8月27日(水) 直納部納涼会

(pm5:00)

〔9月会議予定〕

9月3日(水) 常任理事会 (pm2:30)

理事会 (pm4:00)

組合会議室

9月18日(木) 東資協との懇談会

(pm4:00) 東資協会館

9月29日(月) 古紙センター業務委員会

(pm1:30)

全原連役員会 (pm2:30)

古紙センター会議室

〔古紙価格〕

〔東資協の古紙4品の標準売値〕

平成20年6月9日現在

* 新聞 12~15円(横這い)

* 雑誌 9~12円(上値上昇)

段ボール 12~13円(横這い)

色上(並) 9~12円(上値上昇)

暑 中 御 見 舞

〔古紙品質調査事業〕

平成20年4月～6月価格

〔新聞 古紙〕 18,000円/トン

〔段ボール古紙〕 18,000円/トン

〔代表者変更〕

城北支部：(株)千足 旧代表 伊藤 暄彦
様から 新代表 伊藤 滋 様に変更

〔住所変更〕

中央支部：西巻商店 代表者 西巻 隆
新住所：〒135-0043

江東区塩浜1-4-14-506
電話・FAX 03-5690-1721

〔組織変更〕

中央支部：富善商店 代表者 富岡 良二
新組織：株式会社 富善商店

訃報

文京支部(株)梨本(代表者 梨本 恵子
様) ご主人 梨本 秀雄 様 (享年71)
平成20年7月3日逝去

会議概要〔6月〕

6月度定例理事会 (平成20年6月3日(火))

出席理事27名 (於) 組合事務局 pm4:00

近藤理事長挨拶

先月、第52回総会が皆様のご協力で無事終わりました事をお礼申し上げます。永年のテーマでありました賦課金の改正についても可決決定ができ嬉しく思っております。本年は、60周年記念行事が秋にあります、その前に東印工組との会合も是非、実現したいと考えております。これからも大変忙しくなると思いますが本日もよろしくお願いたします。

〔各部報告〕

〔総務部〕

総会と永年勤続表彰が無事に終える事ができましたことをお礼申し上げます。

会館3階(株)悠和 平成20年5月28日 賃貸借更新 賃借料、現状額で更新をした。

〔直納部〕

市況全般として、輸出は中部商組で段ボール

暑 中 御 見 舞

とミックスが下げ基調で心配したが、関東商組の共販輸出は、段ボールは横這い、新聞は上げ、雑誌は下げとなっている。

国内では、新聞がDIP使用の洋紙メーカー大手からの引き合いが強い。在庫は充分ある。段ボールはスポットの高値がなくなってきた。家庭紙は流通在庫と発生が少なくない。製品値上げは、徐々に浸透しつつある。洋紙関係は値上げをしている。直納部の共販輸出に關しては、現在の4社のほかに1社を呼びかけしている。

秋の海外研修は、11月21日(金)～24日(月)3泊の日程のみ計画して訪問先は検討中である。

〔品種別市況報告〕

〔家庭紙〕 製品値上げは徐々に浸透しつつある。発生、在庫ともに少ない。

〔新聞、雑誌、段ボール〕 新聞は、まだまだタイト感が強く堅調。輸出は、段ボールに陰りが出てきている。アメリカからの輸出がでていない。輸出価格は弱含みで国内価格も軟調。国内メーカーの在庫も軟調。

雑誌は、まだまだ堅調。産業古紙系の雑誌類は引き合いがかなり秋に向けて強くなるようである。輸出とは違った堅調な推移。

〔上台紙〕 発生は良くない。価格は横這い。輸出はあまりない。雑誌に近くなってきた。

〔オフィス古紙〕 発生が悪い。

〔返本雑誌〕 あまり変わらない。発生が落ちてきている。発行部数も減少している。

〔集荷部〕

5月に入りだんだんと発生が落ち込んでいく。値上げにくわれて、逆に少し食い込みになる状態。全体的にかなり厳しい状況。特に燃料が上がり経費の部分で厳しくなってきた。

〔広報部〕

① 広報誌総会5月号の記事について原稿がまだ揃っていないので提出してほしい。業務部長からの報告、ゴルフコンペ、青年部総会、各支部長からの6～7月のスケジュール等。

② 60周年記念誌で実際に作成するのは過去10年間の記念誌となる。各支部の10年間の歴史となる資料を提出してほしい。7月に掲載記事となる座談会を開催する予定。

③ ホームページに関しては、紙業タイムスト

暑 中 御 見 舞

打合せながら作業を進めている。

〔事業部〕

あいおい損保の保険について質問があったら
(株)ウイル・プロモートに問い合わせしてほしい。
組合のガソリンカード事業について、まだ未
加入の組合員は参加をお願いしたい。

〔青年部〕

6月8日(日)に開催する組合ゴルフコンペ
の景品を関係企業にお願いをしている。
研修会を検討している。関東商組との交流ゴ
ルフコンペを秋に企画したい。

〔近代化推進事業委員会〕

需給委員会：各地区の市況があった。行政入
札の価格が急騰し関西地区で大幅な値上げが
起こっている。

涉外広報委員会：古紙偽装問題で一般市民に
誤解を与えている。全原連・関東商組の予算
を使い誤解を解く広告を出していくことを検
討している。

IT委員会：東芝機器より計量システムの
バージョンアップするにあたりプログラム料
金が発生する。経費をどこから捻出するか。

各組自主定をグループウェアに入力してほしい。
経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイ
ザーの手順書を作る予定。

◎次回、理事会は7月3日(木)上野・東天紅
終了後は、清風会による納涼会を東天紅で開
催する。

集直正副委員長会議

〔平成20年6月11日(水)〕

出席理事13名(於)組合事務局 pm4:00
一般的な市況

6月の関東商組の共販輸出は、段ボールが横
這い、新聞が上げ、雑誌が下げ基調。

東京協組の6月共販輸出は、(株)松本光春
商店(株)が落札した。

〔家庭紙〕

家庭紙は製品の価格修正が浸透してきていて
最終目標を目指している。製品の引きが強く
なってきた一部の家庭紙メーカーがあり、
増産をしていきたいが古紙が足りない。
今の古紙の発生状況からタイト感がそのまま
続くのではないか。一部の家庭紙メーカーで
は先行して在庫を持ちたいので古紙集めに
走っている状況がうかがえる。洋紙メーカー
に入ってきている古紙を落としてきているた

め、取り合いになっているところもあるよう
である。家庭紙は全体的に強含み。家庭紙メー
カーの体力的な部分にかかっている。富士地
区の6割はオフィス系になりつつある。

〔オフィス〕

平成19年度の東京23区のゴミの量は、累計
3,220,000トンでているが前年と
比べ112,000トン減り、率で3.3%の
減少となっている。その内の可燃ゴミ1、
636,000トンの44.5%が紙ゴミであ
る。燃やされている可燃ゴミの中からどう
やって使える紙として使用できるか考えてい
かなければならない。

〔その他〕

個人情報保護法により名簿の発行が減っている。
発生は減少。5月は裾物の発生は、そこそこ
あった。
産業古紙は4月の後半から毎月毎月落ちてい
る。本来なら10月度、年度末は、忙しいが忙
しくない。

印刷関係が悪いのは印刷用紙の値上げが原因
ではないか。

チラシが減少している。

マガジン(週刊誌)の発行部数が減っている。
通販インターネットが普及しカタログが減つ

ている。

集荷としては発生が少なく競りこみが激しく、今の相場を崩さないでいって欲しい

〔静岡の会議での対策として〕

発生状況、輸出、価格についての話をしていく。6月は特に悪い点と出版不況について話す。

古紙センター

業務委員会〔平成20年6月18日(水)〕

p m 2 : 0 0 於 古紙センター会議室

〔需要動向〕 08 / 5月 単位トン、

() は対前年同月比、在庫の () は在庫率

〔関東商組32社実績〕

〔新聞〕

仕入 80、821 (86.7%)

出荷 81、204 (86.5%)

在庫 8、081 (10.0%)

〔雑誌〕

仕入 63、738 (96.4%)

出荷 65、107 (95.4%)

在庫 6、892 (10.6%)

〔段ボール〕

仕入 129、305 (96.2%)

出荷 128、211 (95.5%)

在庫 10、908 (8.5%)

〔関東・静岡実績〕

〔新聞〕

入荷 276、260 (98.0%)

消費 262、511 (101.5%)

在庫 205、771 (78.4%)

〔雑誌〕

入荷 136、570 (104.3%)

消費 134、935 (107.5%)

在庫 67、690 (50.2%)

〔段ボール〕

入荷 303、953 (95.8%)

消費 291、986 (95.4%)

在庫 162、688 (55.7%)

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌〕 4月と比較すると変化はない。

チラシが前年比87%、前月比95%と過去10年間で2番目に少ない数字。

雑誌は、発生期を過ぎていたので、これから減っていくであろうと思われる。6月は天気が良い新聞、雑誌はよい数字がでてくるのではないかと。

〔段ボール〕 段ボールは、5月は前年割れをしているのではないかと思える。原因として個人消費の影響が出ているのではないかと。

出は5月に底を打ったかたちで推移している。中国の古紙価格の上げはないのではないかと。購入は落ち着いてきている。

〔メーカー側コメント〕

新聞の売れ行きが悪い。在庫は各社あり在庫率もアップしている。回収は、落ち着いている。

段ボールの生産量は6月も5月なみになるのではないかと。段原紙の5月入荷は順調である。在庫は少し少ない。各社とも発注を抑えぎみである。

古紙センター

業務委員会〔平成20年6月19日(木)〕

p m 3 : 0 0 於 古紙センター会議室

〔1〕古紙の需要・市況動向について

紙面の都合で割愛させていただきます。

〔2〕平成20年度第1回評議委員会、第43回通常

理事会の報告

〔3〕古紙回収推進事業の進捗状況について

〔4〕平成20年7～12月段ボール、新聞、雑誌の消費計画について

全原連 第2回役員会

〔平成20年6月19日(水) pm4:15〕 於

銀座ラフィナート

理事・監事 60名 出席53名

(内、委任出席21名) 欠席7名

(1)古紙再生促進センター関係

①業務委員会(5月22日・6月19日開催)

*平成20年度第1回評議員会、第43回通常理事会の報告

・平成20年度第1回評議員会議案上程承認及び第43回通常理事会議案上程承認。

*理事・評議員の変更の件

・新任理事:

吉浦高志(㈱久米川紙業・代表取締役社長)

善野久晴(丸三製紙㈱・代表取締役社長)

佐野 一

(㈱丸興佐野錦一商店・代表取締役社長)

原田正文

(中越バルブ工業㈱・代表取締役社長)

秋津芳孝(商工組合中央金庫)

中村好伸(元経済産業省貿易経済協力局)

・退任理事:

新井英一(㈱デルエフ)

井上 善(丸三製紙㈱)

佐藤常明(松岡紙業㈱)

園田邦一(商工組合中央金庫)

堀 隆男(財)古紙再生促進センター)

・新任評議員:

井上晋一郎

(日本大昭和板紙㈱・取締役管理本部長)

鈴木俊之(商工組合中央金庫)

福田秀夫(JP資源㈱・代表取締役社長)

・退任評議員:

池内良輔(日本大昭和板紙㈱)

高橋良智(商工組合中央金庫)

寺門隆夫(JP資源㈱)

*平成20年7月~12月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

段ボール:

7~9月 1,902,730t (98.9%)

10~12月 1,988,771t (99.5%)

7~12月 1,891,501t (99.2%)

新聞:

7~9月 1,029,390t (99.4%)

10~12月 1,057,383t (98.9%)

7~12月 286,773t (99.1%)

雑誌:

7~9月 607,691t (106.7%)

10~12月 618,502t (104.4%)

7~12月 1,226,193t (105.5%)

*古紙回収推進事業の進捗状況について

・日本製紙連合会会員企業有志から要請のありました「環境保全のための追加貢献」を実施するため、当センターでは「古紙回収推進特別委員会を設置し、事業の具体案、各地区予算配分等につきまして基本方針をまとめ、各地区委員会に実行委員会を組織し、実行計画を7月末日までに特別委員会(本部)へ提出する。

(本部)へ提出する。

・各地区予算配分(初年度1億円)については関東地区を除く7地区は1,000万円、関東地区は2,000万円とし、特別委員会(本部)分1,000万円を計上する。

・具体案として、

特別委員会(本部) : ①冊子の作成・配布、

②映像(DVD)の製作、

④消費者意識調査、

④古紙回収ボランティア団体のリストアップ

実行委員会(各地区) : ①リサイクルペーパーフェアのような古紙の展示会開催

②各地区の主要地方新聞への広告掲載、

③回収ツールの配布、

⑤オフィス古紙回収モデル事業

⑥セミナー・シンポジウム等開催

*業務委員会等の予定(8月休会)

- ・7月業務委員会(平成20年7月23日(水) 13:30~センター会議室)
- ・9月業務委員会(平成20年9月29日(木) 13:30~センター会議室)

(2)リサイクルシステム議員懇談会報告(6月6日開催)

*議題:①グリーン購入法問題について環境省及び経済産業省より報告

②再生紙問題の現状と今後の対応について環境省・経済産業省・公正取引委員会より報告及び各団体・企業より報告

*出席者:大島衆議院議員、笹井課長(環境省)、加藤課長(経済産業省)、粕淵課長(公正取引委員会)、羽山理事長(日本製紙連合会)、堀川理事長(古紙再生促進センター)、栗原理事長(全原連)、紺野会長(日資連) 中村代表(古紙ネット) 掛川氏(リコー株)

(3)全原連関係

①臨時総会

*議案審議第1号議案役員選出の件(承認)

四国製紙原料商工組合設立により補充役員候補者(3名選出)

藤田實(株フジゲン)、小池正照(株カネシロ)、杉村信夫(株スギムラマチャ)

(4)審議事項(役員会上程、承認事項)

①「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定に関する件

・適格事業所:4月15日(10社、31所)、5月15日(4社、5所)

6月15日(4社、5所) 4月~6月累計(18社、41所)

・アドバイザー:4月15日(7社、36名)、5月15日(5社、12名)

6月15日(2社、2名)、4月~6月累計(14社、50名)

②第31回通常総会収支に関する件

・日時:平成20年5月29日(木)

場所:名古屋マリオットアソシアホテル16階「タワーズボールルームII」

・総会予算 1、800、000円

(収入1、475、000、支出2、102、730) | 302、730

(5)各委員会報告

●経営革新委員会

・「古紙品質管理マニュアル」冊子作成の件

●需給委員会・特になし。

●IT推進委員会

・特になし。

●渉外広報委員会

・新聞広告掲載について各単組で意見をまとめて6月30日までに全原連事務局へ提出願います。

・「ロゴマーク」使用申請(近畿商組4件申請がありました)。

直納部委員会議(平成20年6月19日(水))

出席理事27名(於) 組合事務局 pm4:00~

◎本日、特更組合に表敬訪問し次回に富士で懇談会を持つ事を話し合った。

◎組合の共販輸出の業者として、三ツ矢産商(株)に来てもらい内容説明をして参加の意向を伺った。ヤード等の問題で保留。

市況について

関東商組の共販輸出価格は、段ボールが横這い、新聞が上昇、雑誌が下降。

〔上白・中白〕

発生が少なく各問屋は在庫がない。

〔段ボール〕

輸出価格が下がった。今は為替の問題もありバランスがとれている。現在、価格は横這い。

〔新聞・雑誌〕

輸出は7月に上がりそうである。現在は高止まりで落ち着いている。為替の影響で新聞は

堅調。雑誌は先高感。堅調すぎて不安である。

〔上台紙〕

量が減ってきている。一部で輸出の状況がいいので雑誌として出ているのではないか。発生は良くない。

〔オフィス古紙〕

都内の可燃ゴミの中にオフィス古紙も入ってしまったている。今後、どれだけ古紙関係に出してくるか。オフィス古紙で家庭紙原料として使われる物が6割含まれる。

〔返本関係〕

変化なく低位で安定。季節要因として禁忌の比率が高くなった。マンガ・週刊誌が売れないのでシール・カード類を入れて売れ行きを狙っている状況。

〔その他全体〕

発生が悪い。産業古紙の発生が悪い。

◎静岡県家庭紙部会との懇談会についての対策

①発生についての厳しい状況を伝える

②製品値上げの進捗状況の確認

編集後記

広報部副部長 脇 克美

きたる10月24日（金）上野精養軒において我々東京都製紙原料協同組合の60周年記念式典が行なわれます。広報部でも記念誌の発刊に向けて準備に追われているところです。10月の発行といっても日程を考えると時間はあまりなく、私も支部長という立場もあり山手支部の10年誌原稿をやっと仕上げました。先日は組合本部の諸先輩、8名の方々にお集まり頂きこの10年を振り返っていただく座談会を開催しました。私もスタッフの1人としてお話を伺うことができました。詳しい内容は記念誌に掲載されますが、古紙余剰からの逆有償、また在庫処分のための赤字輸出等のお話を伺い、自分自身も身につまされたこの10年を振り返ってみると感慨深いものがあります。

それにしても、60周年記念式典は多くのご招待客もご出席いただきますが、何より私どもの組合のお祝いです。組合員の皆様に

も多数のご参加を頂き、我々自身のお祝いをしてより一層の結束感を味わいたいと思います。万障お繰り合わせの上、ご出席を頂きたいと願っております。